

第14回（廃棄編）



ライフサイクルに合わせた情報をお伝えいたします！



『パソコンを廃棄するときに気を付ける事は？』

皆さんはパソコンを廃棄するとき中のデータはどうされていますか？
捨てようとしているパソコンの中には

- メールの内容や相手先のメールアドレス
- 経理データなどの機密情報や顧客リスト
- 銀行のネットバンキング情報、クレジットカード情報

など重要なデータはありませんか？

昨今様々な企業で情報漏えいが問題になっており、2005年4月から個人情報保護法が施行されるなど、情報管理の重要性が増してきています。

一旦インターネット上に流出してしまうと回収する事は事実上**不可能**です。
個人情報や機密情報が流出し莫大な**損害賠償**を請求された事案もあります。

また、捨てる前にデータをゴミ箱を空にして捨てたりフォーマットしたから大丈夫と思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、**復元ソフト**や**特殊技術**があれば復元できる可能性があるため安心はできません。

そんな時役に立つのがデータ消去ソフトやディスク破壊機です。

専用ソフトによる消去



HDD全体のデータ自体を上書きし無意味な物にする事でデータを読むことが出来なくなってしまう。

◎長所
データ消去ソフトは数千円程度で安価に購入できる

△短所
HDD全体に書き込む為、消去するために数時間かかる

物理的な破壊による消去



HDD自体を破壊し動作出来ない状態にしてデータを読むことが出来なくなってしまう。

◎長所
短時間で出来ると共にHDD自体を完全に動作不能に出来る

△短所
専用の破壊機が必要だったり、分解に特殊なドライバーが必要だったりする



どうしても時間や手間がかかってしまいますが、
データが流出してからでは取り返しがつきません。
廃棄の前にデータを消去し、情報流出を未然に防ぎましょう！